

## タッチゲーム（ボール）っておもしろい

文・構成・イラスト 山内基広（編集部）

### はじめに

ボールゲームさえさせておけば、体育らしく見えます。でも、よ〜く見ると、楽しくはつらつと動いている子は、ごく一部の子どもたちではないでしょうか。

5年生になって初めて持つバスケットボール。ボール運動が苦手な子にとって、なんと重く硬いボールでしょうか。ボールゲーム嫌いな子は、

- ①ボールの扱い方に慣れていない。
  - ②ゲームの場面に応じてどう動いたら良いかがわからない。
- …ということが原因で苦手意識をもっています。

特に、「予測・判断」が一番むずかしい課題です。この子どもが、楽しく無理なくその2つの技術を身につけていけるように指導順序を考え、教材の工夫をしていかなければなりません。

タッチ！



パス！



### タッチゲーム（ボール）やってみよう

どこに動いたらよいかわからない。ドリブルがうまくできない。こういうレベルから楽しくゲームができ、しかもいろいろなボールゲームに発展させられるボールゲームがこのタッチゲーム（ボール）です。ボールをもったらゴールをめざすことを目標にします。

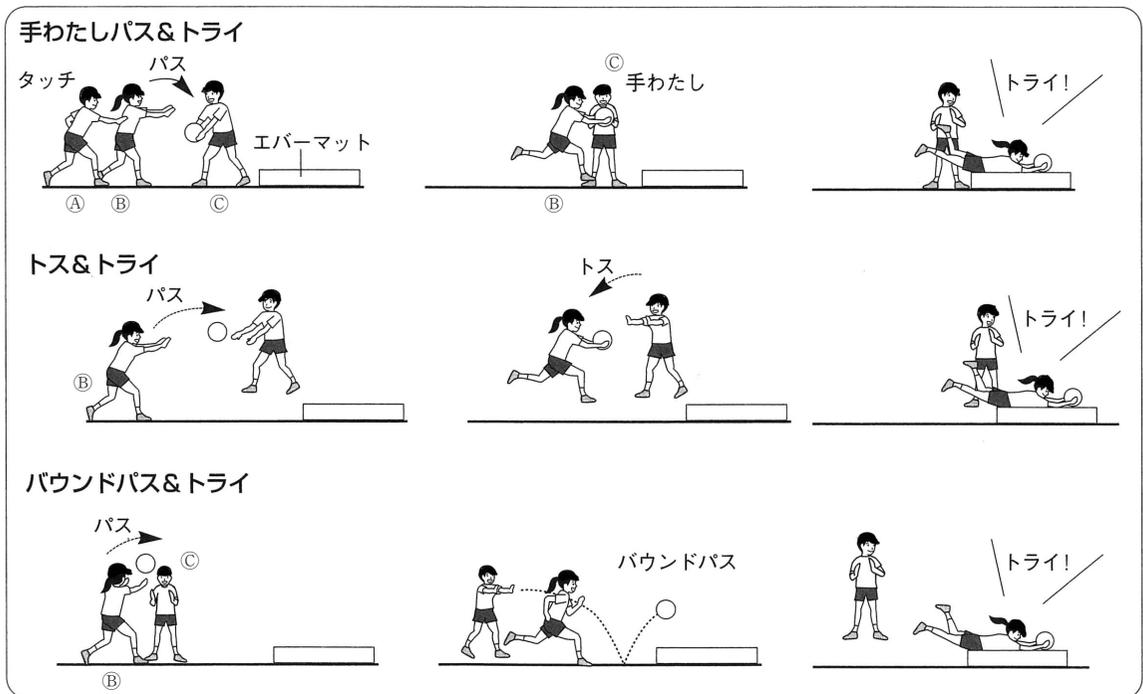
トライ！「やったあ」



## ①いろいろなパスをもらって、トライしよう

攻めと守りの形は、バスケットボール型ですが、ボールをもって走り、エバーマットにトライするところは、ラグビーにも似ています。(ボールは学年に応じて0～2号のドッジボールを使います) タッチをされたらボールの所有権を失います。

トライの仕方が危険なので、その練習とエバーマットにボールをつければ得点になるということをはっきりさせるために「トライごっこ」をします。



①手わたしパス…①A (敵) は②Bにタッチ、②Bは③C (味方) にパスしたら、エバーマットの方に走る。③Cは、走ってきた②Bにボールを手わたしし、②Bがトライをする。

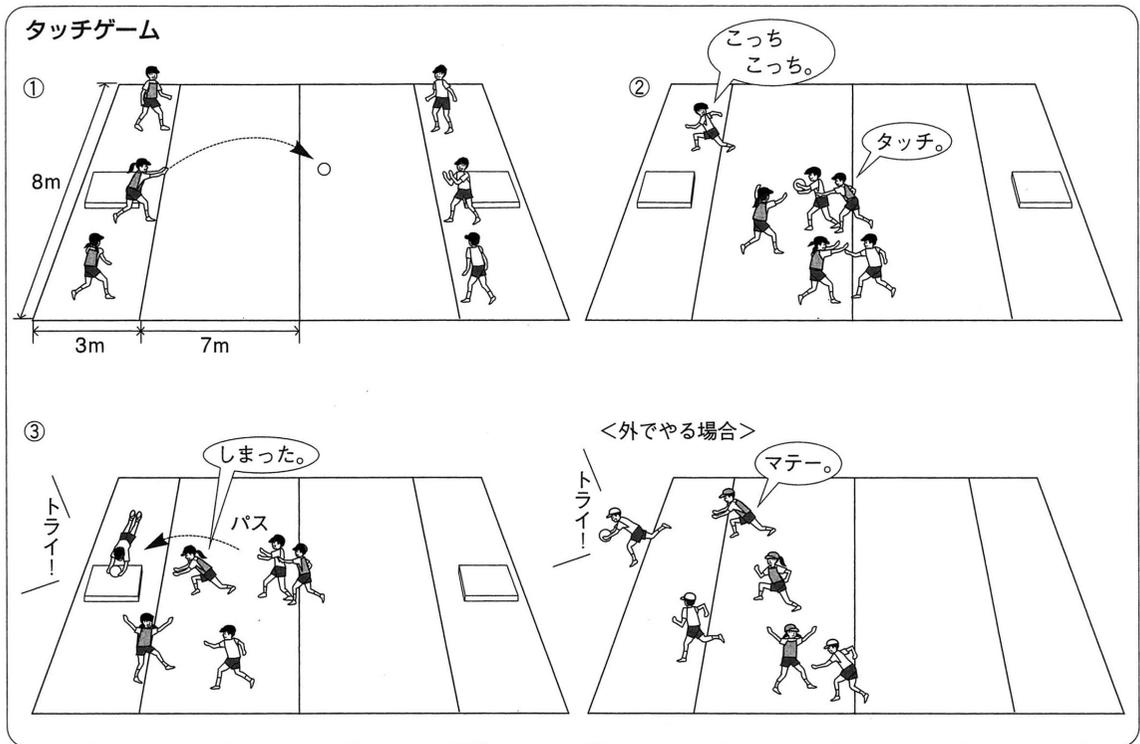
②トス&トライ…手わたしではなく、③Cは2m くらい離れたところからトス (下から軽くパス) する。

③バウンドパス&トライ…②Bと③C (はじめは先生) は平行に並び、パスをもらった③Cは、エバーマットにワンバウンドでパスを出し、②Bはそれをとってトライをする。

学習の中心者は②Bです。②Bは、「自分がトライする」ということを学びます。タッチされたときボールを手放さなくてはなりません、①味方にパスをする②パスをした後、自分がトライできる場所に走りこむ…という学習をします。

## ②タッチゲーム (ボール) っておもしろい

いよいよタッチゲーム(ボール)をやってみましょう。(1チーム3~5人=学年に応じて)外で行う場合は、ボールを接地せずに走りこんだら1点とします。



- ① A チーム、B チームそれぞれスタートラインに並び、B が攻撃の場合、守りの A がセンターラインを越えるようにボールを投げ入れる。投げたらゲームスタート。それを B がとって攻撃する。(B がとれず A の攻撃になる場合もある)
- ② ボールをもっている人は、相手にタッチされたら、3 秒以内にパスしなければならない。
- ③ タッチされずにトライできたら 1 点。攻撃を交代する。

はじめは、「タッチされたらパス」という方法でゲームを進めます。「自分でゴールをめざす」という学習をさせたいからです。だんだん慣れてきたら「タッチされる前にパスをしてもよい」ことにします。時間で行うなら1ゲーム3分とします。先に3点取ったらゲームセットとしてもよいでしょう。ボールを持った人や、ボールがラインを出たらどうするかなど、子どもたちとルールを決めていきます。